

質 問 回 答

2022年2月22日

「インド国パटनाメトロ建設事業準備調査【有償勘定技術支援】」

(公示日：2022年2月9日／調達管理番号：21a01100) について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 16 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 2 条 事業の背景	<p>すでにパटनाメトロ 1 号線、2 号線のコンサルティング・サービス、設計、工事等いくつかのパッケージが契約済みとの情報がありますが（下記【参考情報】参照）、線形や構造形式等の妥当性確認のために各社にヒアリングが必要と考えます。各契約状況、進捗状況、事業工程を共有いただきたい。すでに建設が発注されている工区もある中で、線形の代替案検討等においてどこまでの柔軟性があるのかご教授いただけますでしょうか。</p> <p>【参考情報】 https://themetrorailguy.com/patna-metro-information-map-updates/ ① General Consultant (GC) ② Utility Investigation Line-1 & Line-2 ③ Line-1 Geotechnical Soil Investigation ④ Line-2 Geotechnical Soil Investigation ⑤ PCDD-01: Line-1 Detailed Design Consultant (DDC) ⑥ PCDD-02: Line-2 Detailed Design Consultant (DDC) ⑦ PEDD-01: Detailed Design</p>	<p>・相手国の契約等に関する詳細情報については、公開情報とはなっていないため、本業務の契約締結後に可能な範囲で情報を共有させていただきます。</p> <p>・線形の代替案検討等に関しては、配布資料の「Updated Detailed Project Report for Metro Rail System in Patna」での検討内容を基本としますが、円借款事業としての妥当性の確保のために必要な技術的検討を行い、必要な提案を行うて頂くことを想定しております。</p>

		<p>Consultant (DDC) for 25 kV OHE, Power Supply & SCADA</p> <p>⑧ PC-01: Construction of Line-2' s Malahi Pakri - New ISBT (6.1 km viaduct, 5 stations)</p> <p>⑨ PC-02: Construction of New ISBT Depot</p> <p>⑩ PC-03: Construction of Line-2' s Patna Junction - Rajendra Nagar underground twin tunnel section (8 km, 6 stations)</p> <p>⑪ PC-04: Construction of Line-1' s Danapur - Patlipura Ramp and Mithapur Ramp - Khemni Chak sections (8 km, 7 stations)</p> <p>⑫ PE-01: Design & Commissioning of Receiving cum Traction (RSS + TSS) and Auxiliary Main Substation (ASS) including High Voltage Cabling from Grid Substation</p> <p>⑬ PE-02: Design & commissioning of Electrical and Mechanical (E&M) systems, Fire detection, Fire suppression system and DG sets of Corridor-1 and Corridor-2 Elevated stations and Depot.</p> <p>⑭ PE-03: SITC of 25KV Overhead Equipment (OHE) System, Switching Posts, 33KV Ring mains, Auxiliary Sub stations for Elevated Sections and SCADA System</p> <p>⑮ PT-4: Design, manufacturing & supply of UIC-60 Turnouts & Scissor</p>	
--	--	--	--

		<p>Crossover</p> <p>⑩ PT-7: Manufacturing & Supply of 1200 MT 90 UTS, UIC 60, 13 m, Class A 880 Grade Rails, IRS-T-12-2009 for New ISBT Patna Depot</p> <p>⑪ PT-8: Standard gauge track work (Ballasted, Embedded and Column lines) at New ISBT Depot</p>	
2	<p>企画競争説明書 22 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 5 条 業務方針および留意事項</p> <p>(12) リスク管理シート(Risk Management Framework)</p>	<p>リスク管理シートは、貴機構発行の『テーマ別評価「プロジェクトの PDCA サイクルにおける教訓活用マネジメントの強化策の検討」最終報告書』(2014) の P65 図 28 「有償資金協力(円借款)・無償資金協力事業のプロジェクトリスク管理シート案」に従った形で準備するとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>・同報告書の検討結果をふまえた最新のプロジェクトリスク管理シートを作成しており、本業務の契約締結後に情報を提供させていただきます。</p>
3	<p>企画競争説明書 24 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 5 条 業務方針および留意事項</p> <p>(18) 本事業のスコープ</p>	<p>円借款対象範囲は、1号線地下土木、1 & 2号線システム&コンサル業務とあるが、本調査(審査)対象範囲は1 & 2号線全線の土木・システムとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>・本調査の対象範囲はメトロ1号線・2号線の全コンポーネントとなります。調査の実施においては、実施機関が先行して実施する DPR や詳細設計調査等の結果を精査の上、十分に活用することで、迅速な調査の実施を想定しております。</p>
4	<p>企画競争説明書 30 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 6 条 業務の内容 (8)概略設計 5)土地施設計画(地下トンネル・駅・軌道構造)</p>	<p>「5)土地施設計画(地下トンネル・駅・軌道構造)」は、「5)土木・建築施設計画(地下トンネル・駅・軌道構造)」の違いではないでしょうか。</p>	<p>・記載が誤っており大変失礼いたしました。ご理解の通りです。</p>
5	<p>企画競争説明書 31 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 6 条 業務の内容 (8) 概略設計 6) 車両基地・工場計画(施設・設備含)</p>	<p>車両基地については、既に ISBT 駅近隣に予定地として決定しておりますが、工場計画も含め、貴機構協力量としての環境社会配慮調査対象となるのでしょうか。それとも不可分一体事業と捉えれば宜しい</p>	<p>・車両基地は本事業スコープに含まれるため、環境社会配慮調査の対象であり、不可分一体事業ではありません。</p>

	む)	のでしょうか。	
6	<p>企画競争説明書 37 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 6 条 業務の内容 (17) 環境社会配慮に係る調査 本文</p> <p>企画競争説明書 50 頁 第 4 章 業務実施上の条件 (1) 業務工程</p>	<p>PMRCL が作成した既存の環境影響評価報告書 (EIA 報告書。2020 年 7 月作成) では、貴機構のカテゴリ A 事業で通常求められる二季 (雨季・乾季) 調査を実施しておらず、また大気質、水質、騒音・振動、土壌等の地点数も、現時点で十分であるかどうか判断が難しいです。仮に、スコーピング段階の助言委員会で調査地点数の不足や二季調査実施の旨の助言を受けた場合、現在想定されている業務工程では乾季調査が実施出来ない可能性が高いですが、その場合は工期延長等を含め、契約変更が可能なのでしょうか。</p>	<p>・ PMRCL が作成した環境影響評価報告書の妥当性等の分析・確認のため、環境や社会への影響が見込まれる項目については、現地再委託等を活用して、詳細な調査を実施頂くことを想定しております。従って、本調査期間の中で乾期調査が実施可能な時期をご検討の上、プロポーザルにてその調査工程をご提案ください。なお、現時点では契約変更の可能性は想定しておりません。</p>
7	<p>企画競争説明書 42-44 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 6 条 業務の内容 (20) 先住民計画案 (IPP) の検討 (21) ジェンダー視点に立った調査と計画策定</p>	<p>貴機構の他の企画競争説明書と比較すると、当該項目の業務割合が大きいと考えますが、本業務の実施に際し、当該項目に重大で望ましくない影響を及ぼす可能性を貴機構として想定されているのでしょうか。</p>	<p>・ 現時点では当該項目に重大で望ましくない影響を及ぼす可能性は確認されておりません。本調査において、影響の有無を含めて確認いただき、影響が想定される場合にはガイドライン等に沿った対応を頂くことを想定しております。</p>
8	<p>企画競争説明書 42-44 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 6 条 業務の内容 (8) 概略設計 2) 路線計画</p>	<p>パトナメトロの 2 号線の高架橋区間はすでに一部施工に着手済みであり、円借款調査対象となっている地下区間と接続する同一路線であることから基本的な配線設計に関わる技術基準は既存のインド側の基準を適用するとの認識でよろしいでしょうか。また配布資料の「Updated Detailed</p>	<p>・ 本調査の中で、実施機関が DPR 等で検討する技術仕様等について精査を頂き、円借款事業として最適な提案を行って頂くことを想定しております。</p>

		Project Report for Metro Rail System in Patna」には一部配線設計の諸元について記載があるものの、検証や設計を行うには不十分な内容であり、業務実施において基準は提供されるとの認識でよろしいでしょうか。	
9	企画競争説明書 44 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 6 条 業務の内容 (23) コンサルティング・サービス	すでに DMRC が General Consultant (GC) を受託している情報、1 号線および 2 号線の設計業務も既に発注されているという情報もある中で、指示書にてコンサルタント TOR (案) 作成が業務内容に含まれている。当案件ではどのようなコンサルティング・サービスが現時点で想定されているのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は円借款案件としての形成を検討しており、円借款のコンポートメントの一つとして、コンサルタント雇用 (GC) を想定しております。 ・TOR (案) としては、企画競争説明書の 44 ページ記載のとおり、事業実施に際して必要となるコンサルティング・サービス (詳細設計、入札補助、施工監理、技術移転等) を想定しております。
10	企画競争説明書 47-48 頁 第 3 章 特記仕様書案 第 7 条 成果品等 (1) 調査報告書	全てのレポートに和文作成が求められておりますが、貴機構の鉄道事業における FR は通常数百ページに及ぶ故、和文英文作成の作業負担が非常に大きくなります。そのため英文のみの提出をお願いしたいと思います。弊社が従事した貴機構の過去の案件においては、和文の作成は FR の要約のみ求められており、それ以外は全て英文で作成しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画競争説明書記載の通り、和文報告書も作成頂くことを想定しております。ただし、プロポーザルの中で代案のご提案は差し支えありません。第一位に選定されれば、契約交渉の場において協議させていただきます。
11	企画競争説明書 51 頁 第 4 章 業務実施上の条件 (4) 配布資料	RD (案) を共有いただけますでしょうか。また、配布資料の「Updated Detailed Project Report for Metro Rail System in Patna」に平面/縦断線形図が含まれていなかったため、共有いただけますでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本件は、技術協力プロジェクトではなく準備調査であり、R/D は締結しておりません。平面/縦断線形図については現時点で未入手のため、本調査の中で収集頂くことを想定しております。

以上